

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)の
メールマガジン第161号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

◆今号の内容

1. トピックス
2. これからの活動情報
3. コラム

1. トピックス

◆弊法人の第14回理事会・総会の日程が決定しました。
詳しくは<2.これからの活動情報>にて。

◆年会費のお願い

年会費納入ご協力をお願いをメールでお送りしております。
会員の皆様には、本年度もご協力のお力添えをいただけますと幸いです。

2. これからの活動情報

◆第14回理事会・総会

日時:6月22日(木)(理事会10:00~10:50、総会11:00~11:30)
場所:オンライン会議

◆第22回大学対抗交渉コンペティション

日時:12月9日(土)・10日(日)
場所:上智大学及びオンライン会議

3. 今月のリーダーシップ情報【コラム／column】

今月のコラムは、3月19日に東京都立日比谷高等学校で開催された、
第6回 中・高等学校交渉コンペティション審査員のご感想を紹介します。
弊法人は第1回から本大会を後援しています。

大塚ホールディングス株式会社
大塚製薬株式会社
法務部長 森山亮子 会員

『中高交渉コンペティション』

本メルマガ受信者にはおなじみの大学対抗交渉コンペティションだが、その中高生版がある。既に今年で第6回だということだが、私が審査員参加するのは今年が初めてだ。

この中高交渉コンペティション、仲裁の部はなく、交渉の部のみの一日イベント。対戦時間は大学版より短く、法律学を学ぶ前の中高生が参加主体であるので、ピュアな法律的争点はない。...といった細部の違いはあるものの、大学版とほぼ同じ作りである。今年の問題は、オンライン小売事業者と運送業者との契約条件の変更と新たな協業模索の交渉というもので、運送・物流業界の人手不足・過重労働、ESG、SDGs、顧客データの利活用とその規制といった、多くの企業が今直面している社会課題が背景としてちりばめられていた。

で、中高生の対戦の様子だが、法律を学ぶ前の中学生・高校生とはいうものの、きちんと契約交渉になっている。自社が実現したいことは何かを整理し、優先順位をつける。相手が何を望んでいるのかを想像し、聞きだす。そして妥協点を探す。見事な合意形成の工程を見せており、その工程が法的思考の訓練になっているようにも見える。問題の背景にある社会課題についても、かなり勉強してきた様子が見えがえる。

中高コンペの大会趣旨として、学習指導要領の

「公民」 合意形成や社会参画

「社会」 対立と合意という社会的な見方・考え方を働かせて社会的な事象について考察すること
これらの力を育成することが掲げられているが、主催側の期待するとおりの学習効果があったのではないかと思う。

興味深いコンペに審査員参加して、一つ思いついたことがあるので記載したい。大学版コンペでは毎年企業間交渉が問題となっているが、中高生コンペの大会趣旨を鑑みるに、問題が企業間交渉でなくてもよいのではないか。対立や合意形成が必要な場面は、世の中のありとあらゆるところにある。たとえばNPOや地域住民団体と地方自治体、生徒会と学校、スケール大きくNGOと国家または国際機関の対立とそれを解決するための交渉などである。そちらの方が企業間交渉より、問題を作るのが難しく、それ以上に審査が難しいような気はするのだが(運営側が大変...)、中高生たちは、自由で柔軟な発想で、大人もハッとするような交渉を見せてくれるのではないか。

情報募集中

メールマガジン「グローバルリーダーシップ通信」で、
会員の皆様に発信されたい内容や活動等がございましたら、
毎月20日頃迄に事務局までご連絡下さい。

本メールマガジンについて

配信先ご変更や配信ご不要の場合は、件名に「配信先変更」又は
「配信不要」と明記してglea@npo-glea.org迄ご連絡下さい。

=====
発行元: NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション

発行責任者: 野村 美明

編集者: 事務局 神谷 留奈

(TEL) 070-6560-2633

(FAX) 06-6853-3081